

都市ガスについて

・都市ガスの種類について

当社が供給している「都市ガス」の種別は、**【13A】**になります。

ガス消費機器をご利用の際は、対応しているガスの種類をご確認の上ご使用ください。

(ガス種類に対応していないガス機器を使用した場合、**火災の原因**や**不完全燃焼を起こし有毒物質である一酸化炭素 (CO)**を発生し中毒となることがあるため、大変危険です。)

・都市ガスの熱量・圧力について

ガスの熱量とは、ガスが燃焼して発生する熱の量で「発熱量」ともいいます。

当社が供給している「都市ガス」の熱量は、**【43.3 MJ/m³N】**になります。

また、都市ガスが正常に燃焼するために、ガス機器の入り口で一定の圧力が必要となります。

当社が供給している「都市ガス」の圧力は、下の表にてご確認ください。

ガスの種類	13A	
供給ガス標準熱量	43.3 MJ/m ³ N (≒ 10,344 kcal/m ³ N)	
圧力	最高圧力 (kPa)	2.5
	最低圧力 (kPa)	1.0

・ガス成分及びその含有量について

標準的な組成 (vol%)	メタン (CH ₄)	88.86
	エタン (C ₂ H ₆)	5.16
	プロパン (C ₃ H ₈)	1.86
	イソブタン (i-C ₄ H ₁₀)	0.33
	ノルマルブタン (n-C ₄ H ₁₀)	1.24
	イソペンタン (i-C ₅ H ₁₂)	0.07
	ノルマルペンタン (n-C ₅ H ₁₂)	0.04
	ヘキサン (C ₆ +)	0.02
	炭酸ガス (CO ₂)	0.05
	窒素 (N ₂)	2.37
	酸素 (O ₂)	0
	計	100.00

(2021年11月熱量変更後実績値より算出しております。)

・CO2 排出係数について

都市ガス 1m³ を燃焼した際に排出される二酸化炭素（CO₂）の量を、都市ガスの **CO₂ 排出係数**といいます。また、お客さまがご使用になった都市ガスの量（m³）に CO₂ 排出係数をかけることで、都市ガスの燃焼による CO₂ 排出量を計算することができます。

当社が供給している「都市ガス」の CO₂ 排出係数は、下の表にてご確認ください。

区分	CO ₂ 排出係数		
一般家庭など低圧供給のお客さま	2.127	kg-CO ₂ /m ³	(※1)
工場や商業ビルなどの中圧供給のお客さま	2.106	kg-CO ₂ /m ³	(※2)
標準状態	2.201	kg-CO ₂ /m ³ N	(※3)

(※1) 一般家庭など低圧供給のお客さま（15℃、ゲージ圧 2kPa の状態）

(※2) 工場や商業ビルなど中圧供給のお客さま（15℃、ゲージ圧 0.981kPa の状態）

(※3) 標準状態の値（0℃、1 気圧）

(※4) 温室効果ガス排出量の算定・報告・公表制度（SHK 制度）に基づき、国に報告する際に適用する CO₂ 排出係数（ガス事業者別排出係数）は、下記の環境省（温室効果ガス排出量 算定・報告・公表制度）ウェブサイトをご確認ください。

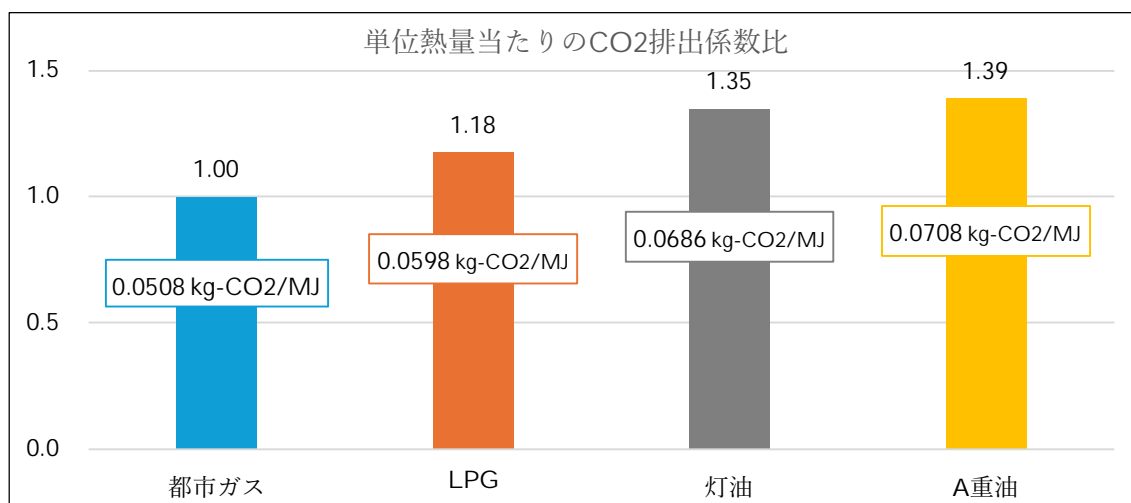
【環境省ウェブサイト】

<https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/calc>

ガスの使用に伴う 1 年間の二酸化炭素排出量は、ガスの 1 年間の使用量（=活動量）に、ガスの単位量（1m³）の使用に伴って排出される二酸化炭素の量（=排出係数）を乗じることで計算することができます。

	[活動量]	[排出係数]
1 年間のガス使用に伴う	1 年間のガスの使用量	ガス 1m ³ 当たりの
二酸化炭素排出量		二酸化炭素排出量
(kg-CO ₂)	(m ³)	(kg-CO ₂ /m ³)
	=	×

また、1MJ の熱量あたりの CO₂ 排出量を他の燃料と比較した場合、下記の通りです。グラフから他の化石燃料と比較しても「都市ガス」はもっとも CO₂ 排出量が少なく、クリーンなエネルギーということが分かります。



(当社が供給している都市ガスを 1 とした比率となります。)